

「行革甲子園 2018」エントリーシート

【取組の内容】

1 取組事例名

官民連携（PPP）による東温市・さぬき市「芸術・文化、観光情報誌（ちょこたび）」の共同発行

2 取組期間

平成29年度

3 取組概要

東温市・さぬき市及び株式会社サイネックスの協働による官民連携（PPP）により、市内企業からの広告掲載（協賛）料のみで「芸術・文化、観光情報誌（ちょこたび）」を発行した。

（芸術・文化、観光等情報提供：東温市・さぬき市／広告販売・編集・印刷・配布：株サイネックス）

4 背景・目的

本市にある常設ミュージカル劇場「坊っちゃん劇場」が平成25年に香川県さぬき市出身の「平賀源内」を題材としたミュージカルを上演したことがきっかけとなり、平成28年4月19日に「東温市・さぬき市芸術・文化、観光連携交流協定」を締結した。この協定に基づき、両市で開催されるイベント等に参加し、お互いの市のPRを実施してきたが、これまで以上に両市のことを両市民にもっと知ってもらい、お互いの市を訪れてもらえるよう、また自分の住んでいる街の「芸術・文化、観光」を改めて見つめ直してもらい、ふるさとへの愛着をもってもらうため、「芸術・文化、観光情報誌」を共同発行することになった。

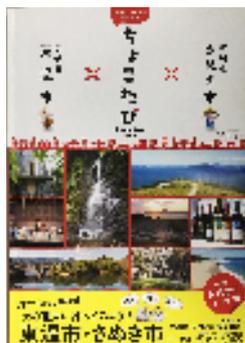
5 取組の具体的内容

平成 29 年 7 月 26 日 「東温市・さぬき市芸術・文化、観光情報誌発行協議会」を設立
『東温市・さぬき市、株式会社サイネックス「芸術・文化、観光情報誌」共同発行
に関する協定』を締結



平成 29 年 10 月～ 両市の企業へ広告掲載依頼開始（株式会社サイネックス）

平成 30 年 1 月末 東温市・さぬき市「芸術・文化、観光情報誌（ちょこたび）」作成
〔発行部数：40,000 部〕



平成 30 年 2 月～ 業者による全戸配布開始（東温市：約 15,000 部、さぬき市：約 21,000 部）

平成 30 年 2 月末 全戸配布完了

平成 30 年 3 月～ 転入者へ配布開始

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

官民連携（PPP）により、地域の異なる自治体が、協定に基づいてお互いの「芸術・文化、観光」に関する情報を両市民に発信することは全国初の試みである。

東温市だけでは、協賛企業の確保に不安があったため、さぬき市との連携により、情報誌の発行に必要な協賛企業数を確保した。

7 取組の効果・費用

今回発行した「情報誌」を見た東温・さぬき両市の市民の方から問い合わせ等が増加している。
また、さぬき市からの観光客が増加しており、今後のさらなる観光地への誘客や交流人口の拡大に期待している。

官民連携（PPP）により、東温・さぬき両市の企業等からの広告掲載料のみで情報誌を発行したため、市の財政負担を伴わず、大幅な経費削減を図ることができた。

また、広告販売から情報誌の編集・印刷・配布までの全てを㈱サイネックスが実施し、民間のノウハウを活用した情報誌の作成、職員の事務負担の軽減を図ることができた。

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

東温・さぬき両市の企業からの広告掲載料（企業協賛）による情報誌の発行であったため、協賛企業を集めることが大変であった。（広告掲載（協賛）料の設定等）

なお、広告掲載料（協賛）依頼については、㈱サイネックスが行った。

9 今後の予定・構想

今回は、東温市とさぬき市の「芸術・文化、観光情報誌」を共同発行したが、可能であれば今後も県域を越えて広域的な観光情報誌を作成するなど、他の自治体との連携によって、より効果的な本市認知度の向上や交流人口の拡大に努めていきたい。

また、今後も、さぬき市との連携を深め、両市民間の交流促進、国内外からの誘客等に取組んでいきたい。

10 他団体へのアドバイス

お互いの街を知ってもらうことは当然であるが、自分の住んでいる街の「芸術・文化、観光」について、あまり知らない方もいることから、改めて見直してもらい、ふるさとへの愛着を深めるため、この情報誌の発行は有効であったと考える。

ただし、官民連携（PPP）により行う場合には、より多くの企業に広告掲載（協賛）してもらえるよう、協賛企業の募集方法や広告掲載料の金額設定など、事前に十分な検討が必要である。

11 取組について記載したホームページ

観光情報誌（ちょこたび）の電子書籍版を両市のホームページで閲覧できるようにしている。

http://www.scinex.co.jp/wagamachi/loco/38215_kankou/dl_pc.html